

## 仙台市安全安心街づくり基本計画への平成23年度から平成26年度までの取り組み総括と課題等（補足資料）

### 基本目標 1 市民一人ひとりの防犯力の向上

#### 1 防犯知識を深め、危機察知等の防犯力を高める

##### (1) 主な実績数値

取り組み	23年度	24年度	25年度	26年度	(参考) 26年度目標
くらしのセミナー等出前講座	42回	66回	82回	85回	—
地域包括支援センターでの高齢者防犯講座	22回	39回	81回	138回	随時開催
障害者防犯講習会	2回	8回	2回	7回	随時開催
学校での防犯教室	各学校1回以上	各学校1回以上	各学校で適宜開催	各学校で適宜開催	1回程度
市民センターでの防犯講座	17回 (1,249人)	19回 (2,025人)	28回 (2,375人)	27回 (1,964人)	随時開催
各区での講座回数	7回	6回	4回	5回	6回以上
デートDV防止出前講座	5回	3回	5回	9回	5回以上
消費者被害防止のための学校への出前講座	5回	17回	20回 (3,844人)	10回 (1,756人)	—

##### (2) 取り組みの総括と課題等

- ・各種防犯意識啓発運動や防犯講座等を相当数実施することができ、市民の防犯意識や防犯知識の向上に資する活動を実施できた。
- ・特に、地域に講師が出向いて実施する出前型の講座は、身近な犯罪の手口等を伝えながら、犯罪や悪質商法などに巻き込まれない実践的な防犯学習の機会を提供できるものとして受講者等にも好評である。
- ・今後も、防犯意識の啓発運動や防犯講座など防犯学習機会の提供を充実していくとともに、出前型の講座の利用団体数を増やすなど防犯講座等の参加者数の拡大が求められる。
- ・インターネットに起因する新たな犯罪や特殊詐欺など、加害者側からの個人へのアプローチを契機とする犯罪被害が増えていることから、防犯講座等の参加が難しい方も含めた幅広い層に対する防犯知識の提供も課題と考える。

#### 2 安全教育の充実による規範意識の向上、非行防止の取り組み

##### (1) 主な実績数値

取り組み	23年度	24年度	25年度	26年度	(参考) 26年度目標
街頭指導人数	1,457人	1,376人	1,283人	902人	1,300人
児童相談所における非行相談受理件数	72件	56件	41件	73件	130件
子供相談支援センターにおける面接相談	33件	36件	43件	29件	100件
ヤングテレホン相談	1,423件	1,836件	1,152件	935件	1,700件
ヤングメール相談	—	—	—	7件	—

(2) 取り組みの総括と課題等

- ・青少年の指導・相談については、継続的な街頭指導・相談を実施してきたところであるが、実際に街頭指導件数や相談件数が減少してきており、改善傾向が示されている。
- ・今後も、学校、青少年関係機関等による、啓発活動や指導・相談を継続して実施することにより、青少年の規範意識の向上や非行や問題行動の防止を図ることが求められている。

### 3 児童生徒等子どもの防犯力の育成

(1) 主な実績数値

取り組み	23年度	24年度	25年度	26年度	(参考) 26年度目標
地域安全マップづくり用作製マニュアル配布	1,500冊	1,500冊	0冊	3,000冊	—
安全教育担当者研修会への参加率	81.1% (159校/全196校)	94.4% (184校/全195校)	89.7% (175校/全195校)	92.4% (182校/全197校)	100%
防犯ブザー購入費補助申請率	69.6% (87校/125校) (5,647個)	64.0% (80校/125校) (5,544個)	72.0% (90校/125校) (5,345個)	62.1% (77校/124校) (5,656個)	100%

(2) 取り組みの総括と課題等

- ・学校における安全教育を中心に、子どもの危険対応能力の向上を推進するため、教育担当者研修会の実施や教育パンフレット等の配布を行ってきた。
- ・今後も、担当教職員の資質の向上等により、さらに充実した安全教育の実施が必要であるとともに、保護者や地域と連携した子どもの防犯力の育成を促進する取り組みが求められている。

#### 4 女性、高齢者、障害者等の防犯力を高める

##### (1) 主な実績数値

取り組み	23年度	24年度	25年度	26年度	(参考) 26年度目標
新入学女子大生への小冊子配布	2,300部	2,500部	2,500部	2,500部	2,000部
セクハラ等防止研修	5回	7回	10回	8回	5回以上
性暴力・DV防止等啓発パンフレット・ポスター等の配布	187,960部	166,000部	143,820部	149,450部	19万部
各区における女性を対象とする相談件数	1,354件	1,308件	1,311件	1,391件	随時
エル・ソーラ仙台での一般相談実施(面接・電話)	面接週6回 電話週5回 (1,628件)	面接週6回 電話週5回 (1,996件)	面接週6回 電話週5回 (1,810件)	面接週6回 電話週5回 (1,748件)	面接週6回 電話週5回
エル・ソーラ仙台での法律相談実施(面接)	週1日 (295件)	週1日 (240件)	週1日 (210件)	週1日 (245件)	週1日
仙台市配偶者暴力相談支援センター(※)での女性への暴力電話相談	週1回 (85件)	週1回 (25.3から 週5回) (129件)	週5日 (430件)	週5日 (449件)	週5日
仙台市配偶者暴力相談支援センターの保護命令の申立書作成支援	—	0件	6件	11件	随時
デートDV防止出前講座(再掲)	5回	3回	5回	9回	5回以上
出前式防犯講座(再掲)	22回	34回	32回	33回	50回
地域包括支援センターでの高齢者防犯講座(再掲)	22回	39回	81回	138回	随時開催
高齢者向け防犯啓発用パンフレット配布	4,940部	4,850部	5,550部	5,500部	4,000部
出前講座「くらしのセミナー」参加人数(高齢者対象)(再掲)	20回 (710人)	18回 (473人)	23回 (484人)	33回 (1,089人)	20回
出前講座「くらしのセミナー」(民生委員児童委員、介護支援専門員等)(再掲)	7回 (395人)	9回 (190人)	8回 (479人)	10回 (401人)	30回

障害者施設利用者及び職員への出前式防犯講座（再掲）	2回	8回	2回	7回	随時開催
---------------------------	----	----	----	----	------

※平成 25 年 3 月に開設。それ以前はエル・ソーラ仙台の既存事業での実績

(2) 取り組みの総括と課題等

- ・女性、高齢者、障害者の各層に対して、防犯講座の実施や啓発パンフレットの提供などにより、防犯力向上のための支援を実施できた。
- ・女性や高齢者を対象とした犯罪は、減少傾向にはあるものの、女性を対象とするひったくり、DV被害などが未だ少なくないことや高齢者を狙った特殊詐欺被害が急増していることなどから、より多くの女性や高齢者に向けた情報提供や注意喚起が必要である。

## 5 防犯力向上のための情報発信

(1) 取り組みの総括と課題等

- ・市ホームページ、広報紙などを活用し、犯罪の発生状況や防犯状況や地域での防犯活動事例の紹介等の広報啓発活動を継続的に行ってきた。
- ・特殊詐欺等、多様化・巧妙化する犯罪発生状況などを、できる限りタイムリーに情報を提供するため、より多様な媒体による提供が求められている。

## 基本目標 2 互いに協力し支え合う地域力の高い防犯の街づくり

### 1 地域コミュニティによる防犯活動の推進

(1) 取り組みの総括と課題等

- ・「学校ボランティア防犯巡視員」の巡視活動や「あいさつ運動」などにより着実に地域コミュニティによる防犯活動の促進が図れた。
- ・犯罪を抑止する効果が高いことから取り組んできた「一軒一灯運動」については、東日本大震災後の節電需要の高まりから促進が難しい状況となっており、運動の在り方を検討する必要がある。

### 2 自主防犯活動の推進

(1) 主な実績数値

取り組み	23年度	24年度	25年度	26年度	(参考) 26年度目標
歩くボランティア登録者数（総数）	1,440人 (新規登録 104人)	1,508人 (新規登録 99人)	1,617人 (新規登録 161人)	1,698人 (新規登録 96人)	1,700人
自主防犯活動団体への助成件数	延べ177件 (23年度 13件)	延べ191件 (24年度 12件)	延べ208件 (25年度 17件)	延べ225件 (26年度 17件)	延べ250件
青色回転灯設置車両	延べ143台	延べ205台	延べ226台	延べ255台	延べ110台

(2) 取り組みの総括と課題等

- ・都合の良い時間を利用して気軽に取り組める「歩くボランティア」の普及促進や自主防犯組織や防犯協会に対する助成等活動のための支援を継続的に実施した。
- ・「自主防犯活動団体」の助成申請数がやや低調であること、防犯協会などでの参加者の確保が課題となっていることから、自主防犯活動に新たに参加する人材の育成の取り組みなどが求められている。

### 3 地域と一体となった子ども等の見守り活動

(1) 主な実績数値

取り組み	23年度	24年度	25年度	26年度	(参考) 26年度目標
学校ボランティア防犯巡視員の組織率	100% (全186校) (6,989人)	100% (全186校) (6,958人)	100% (全187校) (6,445人)	100% (全187校) (6,614人)	100%
スクールガード・リーダー巡回回数 (※)	2,976回	2,979回	2,987回	—	約3,000回/ 年
「仙台まもらいだー」車両登録台数	1,115台	1,115台	1,115台	1,299台	随時受付
「こども110番の駅」掲示率	100%	100%	100%	100%	100%
学区内の危険箇所への「立入禁止」看板の設置本数	500本	500本	500本	500本	500本/年

※平成26年度から学校防犯巡視員「仙台まもらいだー」へ事業統合

(2) 取り組みの総括と課題等

- ・学校ボランティア防犯巡視員を中心とした地域との連携による子ども等の見守りを継続して実施できている。
- ・企業の協力により「仙台まもらいだー」車両登録台数も着実に伸びている。
- ・今後は、学校ボランティア防犯巡視員を始めとする地域の見守り活動のより一層の充実を支援するための取り組みを進めていく必要がある。

### 4 防犯活動団体のネットワーク化の推進

(1) 取り組みの総括と課題等

- ・各区において、毎年1箇所ずつ区安全安心街づくり推進モデル地区を設定し、地域の関係団体と、協議を行いながら、協働による防犯活動等を実施した。
- ・今後は、モデル地区における防犯活動を始め、地域において防犯活動に取り組む個人・グループ・NPO等間の交流・連携を図り、地域の防犯活動の質をより向上させる取り組みが求められる。

## 5 防犯リーダーの育成

### (1) 主な実績数値

取り組み	23年度	24年度	25年度	26年度	(参考) 26年度目標
スクールガード・リーダー巡回回数 (再掲)	2,976回	2,979回	2,987回	—	約3,000回/ 年

### (2) 取り組みの総括と課題等

- ・防犯協会の防犯指導隊・防犯女性部など実践者に対する研修や学校防犯巡視員「仙台まもらいだー」（平成25年度までは「スクールガード・リーダー」）による学校ボランティア防犯巡視員に対する指導育成事業などにより、リーダーの育成を進めることができた。
- ・今後も、研修などの実施による防犯知識の普及やリーダーとして有益な情報の提供に努め、より多くの人材の育成を支援する必要がある。

## 6 犯罪被害者等の支援

### (1) 取り組みの総括と課題等

- ・警察を始めとする関係機関との連携により、犯罪被害者が必要な支援が受けられるよう、相談や情報提供などを実施するとともに、犯罪被害者に対する市民の理解を促進するための啓発活動を実施した。また、DV被害者等について加害者に対する住民票閲覧制限等を行うなど自立した生活を支援した。
- ・今後も、犯罪被害者等が受けるべき支援を受けられないことのないよう、相談窓口などの更なる周知を図っていく必要がある。

## 基本目標3 犯罪をつくりださない環境づくり

### 1 危険迷惑行為等撲滅への取り組み

#### (1) 主な実績数値

取り組み	23年度	24年度	25年度	26年度	(参考) 26年度目標
市内高校の新入生への自転車ルール等啓発用冊子の配布	37校 (冊子 10,130部)	37校 (冊子 10,870部)	37校 (冊子11,315 部)	37校 (冊子 10,654部)	市内高校・ 中学新入生 等への配布
自転車の安全利用に関する啓発用チラシ・ポスターの配布	チラシ： 中学校65校 32,000枚	チラシ： 高校37校 3,000枚 ポスター： 小中高校等 353箇所 1,737枚	チラシ： 幼小中高219 ヶ所117,353 枚 ポスター：駐 輪場 30ヶ所30枚 ※道交法改正関係	冬休み・春 休みに合わせ、交通安全全般に関する通信を小中学校にデータで送付	—

スケアード・ストレイ ト方式による交 通安全教室	—	—	2回	5回	—
駐輪場マップ配布 数	50,000部	70,000部	75,000部	75,000部	50,000部
市営駐輪場、附置義 務駐輪場整備台数	62,191台	64,928台	65,466台	66,839台	60,000台程 度
駐輪場利用台数	8,285,985 台	8,418,920 台	8,172,946 台	8,338,509 台	8,000,000 台程度
放置自転車の年間 撤去台数	15,576台	14,465台	13,900台	12,838台	20,000台程 度
違反広告物除却回 数	各区 週1回	各区 月2回以上	各区 月1回以上	各区 月1回以上	各区 月1回以上
違反広告物除却活 動員	882人	916人	715人	約700人	1,300人 程度
違法駐車防止のた めの指導活動回数	79回	91回	81回	82回	週2回
違法駐車防止のた めの助言件数	4,454件	4,934件	3,982件	4,498件	—
違法駐車防止のた めの不在車両への 注意カード取付件 数	186件	149件	108件	93件	—
全市一斉ポイ捨て ごみ調査・清掃活動 参加者	1,054人	2,850人	2,278人	2,999人	—
仙台まち美化サポ ート・プログラム参 加団体数	178団体	185団体	193団体	202団体	前年度比増
歩きたばこ防止キ ャンペーン数	11回	13回	11回	10回	月1回程度
空き地指導件数(除 草等)	767件	1,278件	1,170件	1,066件	随時
空き家等指導件数 (建築物の撤去等)	—	17件	8件	助言345件 指導8件	随時
空き家等指導件数 (可燃物除去等)	64件	58件	62件	68件	随時

(2) 取り組みの総括と課題等

- ・自転車の迷惑走行対策は、パンフレットの配布やスケアード・ストレイト方式の交通安全教室などの手法も取り入れ、児童生徒を始めとする啓発活動を実施した。
- ・放置自転車対策は、駐輪場の整備やマップの配布などにより、駐輪場利用台数が伸び、撤去台数は減少するといったように、着実に改善が図られてきている。
- ・違反広告物等対策、落書き対策、ごみのポイ捨て対策や歩きたばこ対策は、ボランティアや関係団体との協力のもと、継続した環境美化活動などを実施できた。

- ・管理不十分な空き家等対策は、空き家について平成 26 年から条例が施行され、市の役割が整理されたことに伴い、助言・指導件数が大幅に伸びることとなった。
- ・ハード整備による放置自転車の減少や啓発活動による迷惑行為への注意喚起の一定の成果があったものの、自転車のルール・マナーの遵守を始め、迷惑行為であることの認識の周知や行為を自制する意識の醸成など迷惑行為を撲滅するための啓発を進めていく必要がある。
- ・空き家や歩きたばこなど迷惑行為に対する新たな法律や条例の制定を踏まえ、制度の周知や適切な権限の行使に努めていく必要がある。

## 2 犯罪機会を与えない防犯性の高い道路、公園、建物等の整備促進

### (1) 主な実績数値

取り組み	23年度	24年度	25年度	26年度	(参考) 26年度目標
街路灯照度アップ箇所数	1,388箇所	1,237箇所	1,423箇所	936箇所	予算状況により整備
私道街路灯新設補助件数	26件	26件	23件	31件	地域の要望を受け継続支援
私道等の街路灯維持管理に関する町内会への支援件数	595件	989件	597件	594件	地域の要望を受け継続支援
樹木を剪定した公園数	475箇所	387箇所	361箇所	463箇所	580箇所
公園灯を新設・修繕等した公園数	146箇所	136箇所	131箇所	135箇所	30箇所
公園愛護協力会の結成	70.6% (1,155団体／1,635公園)	71.1% (1,173団体／1,650公園)	71.9% (1,190団体／1,655公園)	73.3% (1,220団体／1,664公園)	73.5%
公共施設の新・増・改築に伴う設計工事における防犯上の配慮	2件	36件	20件	25件	設計時の配慮実施

### (2) 取り組みの総括と課題等

- ・道路の街路灯の照度アップ、公園等の樹木剪定、施設の設計時の配慮など、公共施設の防犯対策を着実に進めることができた。
- ・防犯協会による住宅の防犯診断や商店街による防犯対策も含めた環境整備に対する助成などを行うことで、街の防犯力の向上を図ることができた。
- ・今後も、取り組みを継続的に実施していくことが求められており、国等の助成制度の動きなどにも注視して、財源の確保を図りながら進めていく必要がある。

### 3 子どもの安全に配慮した環境の整備

#### (1) 主な実績数値

取り組み	23年度	24年度	25年度	26年度	(参考) 26年度目標
指定通学路の追加等	追加1校 廃止1校	追加10校 廃止3校	追加4校 廃止4校	追加5校 廃止2校	随時点検

#### (2) 取り組みの総括と課題等

- ・計画期間中に全ての市立の小学校・幼稚園・保育所に警報ベル設置を設置済みとすることができた。
- ・通学路の安全確保については、平成26年12月に「通学路の安全確保に関する取組方針」を定め、関係機関が連携強化し、取組みを進める枠組みを構築したところである。
- ・今後も、小学校等の警報ベル装置などの警備機能の維持を行うとともに、民間保育所などにも呼びかけを行い、警備システム等の設置を促進していく必要がある。
- ・通学路の安全点検も関係機関との連携を密に図りながら着実に進めていく必要がある。

### 4 地域における市民自らが行なう環境の整備

#### (1) 取り組みの総括と課題等

- ・地域の求めに応じて、自主的な落書き消去活動に対して適宜消去剤等の貸し出しを行った。
- ・落書きの被害件数等が少なくなってきたこともあり、活動もやや低下してきており、制度の在り方についても検討を行う必要がある。

### 5 地域における関係団体等による環境の整備

#### (1) 主な実績数値

取り組み	23年度	24年度	25年度	26年度	(参考) 26年度目標
国分町地区との連携事業実施	10回	12回	11回	10回	12回程度
青葉区安全安心街づくり推進協議会と連携した環境浄化活動	2回	2回	2回	2回	2回

#### (2) 取り組みの総括と課題等

- ・国分町地区の地元町内会や警察等との協働により、繁華街・歓楽街の環境整備を進めることができた。
- ・今後も、地元町内会や警察等との連携を密にして、路上での迷惑な客引きの対策など、新たな課題にも対応しながら、訪れやすい繁華街・歓楽街を目指して、環境整備を進めていく必要がある。